

SUSTAINABILITY REPORT 2021



目次

1 安藤ハザマのサステナビリティ戦略

5 マテリアリティ1

社会課題の解決と社会への価値創造

6 活動ハイライト

7 社会やお客様の満足と信頼獲得

11 地域社会との調和

14 マテリアリティ2

地球環境の保護と調和

15 活動ハイライト

16 豊かな環境づくり

20 環境データ集

29 マテリアリティ3

サステナブル経営の推進と責任の徹底

30 活動ハイライト

31 公正で誠実な企業活動

35 安全で働きやすい労働環境

39 ステークホルダーとのコミュニケーション






安藤ハザマのサステナビリティ戦略

私たち安藤ハザマは、社会の期待に応え、さらなる社会価値を創造する企業グループになることを目指しています。その実現に向け、E・S・Gそれぞれの観点から、重要な戦略テーマ(マテリアリティ)を設定しています。

安藤ハザマの「マテリアリティ」

マテリアリティ ① 社会課題の解決と社会への価値創造

持続可能な社会の実現に向け、事業のさまざまな側面で
新たな価値を創造し、社会と共栄する

CSR重要テーマ	主なKPI	関連SDGs
社会やお客様の満足と信頼獲得 地域社会との調和	生産性向上(2025年度目標) (2020年度比) 10% 以上 特許出願件数(2025年度目標) 75 件/年	    

マテリアリティ ② 地球環境の保護と調和

豊かな地球を次世代に託すため、
脱炭素で低負荷な循環型社会を実現する

CSR重要テーマ	主なKPI	関連SDGs
豊かな環境づくり	CO ₂ 排出削減率(2030年度目標) Scope1、Scope2の総排出削減率(2017年度比) 33% 再生可能エネルギー電気利用割合 (2030年度) 80%	    

マテリアリティ ③ サステナブル経営の推進と責任の徹底

サステナブルな経営の基盤として、
公正で誠実な事業をサプライチェーン全体で実現する

CSR重要テーマ	主なKPI	関連SDGs
公正で誠実な企業活動 安全で働きやすい労働環境 ステークホルダーとの コミュニケーション	重大な労働災害 0 件 コンプライアンス研修受講率 100%	     

さらなる価値創造に向け

コアSDGsの設定、KPIの開示

4つの価値創造テーマの持つ社会インパクトの可能性を十分に発揮するため、それぞれのマテリアリティに対して、優先的に貢献を目指す「コアSDGs」を設定しました。SDGs達成に向けた当社の行動内容を明確にしつつ、中期経営計画「Chapter I」の非財務パフォーマンスの向上を目指します。また、マテリアリティに即したサステナビリティ戦略の実行の可視化に向けて、コアSDGsに則したKPIを開示しました。

今後、当社が財務・非財務一体で展開する「社会・環境インパクト戦略」の中心的指標として、PDCAの実践へと大きな役割を担います。

優先して取り組むコアSDGs、KPI

マテリアリティ CSR重要テーマ 関連SDGs	施策ポイント	コアSDGs	KPI	数値目標	達成年度	具体的な方策
社会課題の解決と社会への価値創造 CSR重要テーマ ■ 社会やお客様の満足と信頼獲得 ■ 地域社会との調和     	▶ 先進的で高品質なソリューションでインフラづくりを革新する ▶ レジリエントで先進的な生活・経済基盤を世界に提供し続ける		■ 生産性向上 ■ 特許出願件数	10%以上 (2020年度比) 75件/年	2025年 2025年	■ 省力化、自動化や防災減災に資する技術研究開発 ■ ライフサイクルサポート事業の強化 ■ 社会貢献活動、文化貢献活動の推進
			■ 現場見学会実施数 ■ 環境社会貢献活動(ボランティア活動、清掃活動参加など) 土木作業所 建築作業所 オフィス	100回以上/年 3件/作業所 3件/作業所 80件/年	ー 2021年	
地球環境の保護と調和 CSR重要テーマ ■ 豊かな環境づくり     	▶ 自社の環境負荷低減(低炭素、高循環、生物多様性保全)を継続徹底する ▶ 社会の環境負荷低減に貢献するサービスを積極開発する		■ CO ₂ 排出削減率(Scope1+2) ■ 建築環境総合性能評価システム(CASBEE簡易版)での評価Aランク以上の割合	33% (2017年度比) 60%以上	2030年 2021年	■ 自社の低炭素化の推進 ■ 省エネソリューション提供 ■ 自社利用電力の再生可能エネルギー化 ■ クリーン技術への投資 ■ 環境パトロールの強化 ■ 現場での低負荷・高循環化の推進、廃棄物の削減 ■ LCA(ライフサイクルアセスメント)の展開
			■ ZEB提案件数 ■ 再生可能エネルギー電気利用割合	5件 80%	2021年 2030年	
			■ 重大な環境事故 ■ 建設廃棄物の再資源化推進(土木)混合廃棄物総排出量の削減 (建築)新築工事での混合廃棄物の発生原単位の削減	0件 1t/施工高(億円) 7kg/延床面積(m ²)	ー 2021年	
サステナブル経営の推進と責任の徹底 CSR重要テーマ ■ 公正で誠実な企業活動 ■ 安全で働きやすい労働環境 ■ ステークホルダーとのコミュニケーション      	▶ 多様性が尊重され、個性や能力が発揮される職場を整備する ▶ 権利を尊重し、安全・健康に働ける事業慣行を徹底する		■ 重大な労働災害 ■ 度数率	0件 0.40以下	ー ー	■ 労働災害の防止 ■ 健康経営の推進 ■ 女性の雇用拡大 ■ 公正で働きがいのある仕事、処遇改善、人材育成 ■ コンプライアンス徹底
			■ 女性従業員比率(定年制社員)	15%以上	2025年	
			■ 4週8閉所実施率 ■ CCUSカードタッチ率* ■ 情報セキュリティ講習受講率 ■ コンプライアンス研修受講率	100% 40% 100% 100%	2021年 2021年 ー ー	

* CCUS(建設キャリアアップシステム): 技能者の現場における就業履歴や保有資格などを技能者に配布するICカードを通じ、業界統一のルールでシステムに蓄積する仕組み
カードタッチ率(就業履歴蓄積率)は、CCUSカードのカードリーダーへのタッチ等をして工事現場へ入場した技能者の数÷工事現場へ入場した技能者の数で算出

リスクと機会を踏まえた、エンゲージメント

マテリアリティに掲げたテーマを確実に推進するため、私たちは、リスクと機会を常に意識しながら、ステークホルダーの皆様のご期待、ご関心、ご要望などを的確に把握し、適切に活動に反映する仕組みの構築に努めています。2020年初頭以降、重要テーマごとの実施に大きな影響を及ぼしつつあるのが、新型コロナウイルス感染症の拡大です。当社はこれを適宜加味しつつ、「ニューノーマル」や「アフターコロナ」と称されるビジネスと生活様式の変化も見据えたPDCAを展開しています。

安藤ハザマの認識している社会・環境リスクおよび機会 2020年度に重要度を高めた要素の例

事業を取り巻くリスク

非財務に対する要求の厳密化と、財務面への影響

- ▶ 「ウィズ・アフターコロナ」に対応した社会・経済の制度化
- ▶ 気候変動戦略、多様性戦略に関する開示強化要望

気候、災害による事業への影響

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大による内外受注動向への影響
- ▶ 激甚型災害に対応したBCPの継続強化

インフラ需要に伴う社会要望、技術要件の高度化

- ▶ 「ニューノーマル」下でのビジネス・日常慣行に対応したインフラ設計の必要性の勃興
- ▶ 顧客からのデジタルトランスフォーメーション(DX)対応要望

労働安全環境のさらなる改善の必要性

- ▶ ウィズコロナでの安全衛生管理の強化
- ▶ 平時の健康管理への社会的関心の向上

サプライチェーン全体でのコンプライアンス、リスク管理の必要性

- ▶ 現場単位での新型コロナウイルス感染症拡大防止策の徹底
- ▶ 海外取引先も含めた人権尊重

社会に貢献し、共栄する機会

環境性能に優れた、高品質で強靱(レジリエント)な社会インフラ構築によるお客様満足の向上と社会への貢献

- ▶ 低炭素ソリューション、省人化ソリューションなどへの、社会的期待の高まり
- ▶ ものづくりのDX化推進による、さらなる価値創造、効率化

労働安全、働き方改革の推進による、優れた人材の確保および優良な協力会社との共栄関係の構築

- ▶ 柔軟な働き方の提供による、より多様な人材獲得への機会拡大
- ▶ 多様な人材による技術革新、競争力向上

公正で誠実な事業活動、地域(コミュニティ)とのパートナーシップ(協力関係)強化による、社会との関係強化、貢献

- ▶ 調達基本方針の浸透施策を通じた、サプライチェーンでの風通しの改善

ステークホルダーエンゲージメント

社会の価値観が常に変化する中、社会の一員として確実に責任を果たし、かつ、お客様や社会に価値のあるものづくりを実現し続けるためには、さまざまなステークホルダーの皆様と対話・協働するプロセスが重要であると安藤ハザマは考えています。このような考えに基づき、さまざまな機会を通じ社会の声を企業活動に反映していく取り組みを推進しています。

ステークホルダー	考え方(方針)	主な対話のチャンネル例	主なテーマ、関心事
お客様	お客様のニーズ、社会からの要請、期待を把握し、高い技術力に基づく安全、安心、高品質な良いものづくりで、お客様満足、社会からの信頼の向上、および社会課題の解決に努めます。	お客様問い合わせ窓口、満足度調査、事業活動	高品質なものづくり、社会課題を解決するものづくり
株主、投資家	適時適切な情報開示、株主や投資家の皆様との双方向コミュニケーションにより、皆様に適切に評価いただくとともに、寄せられた意見、要望を企業活動の参考とし、社会発展への寄与を通じて企業価値の向上に努めます。	IR・SRミーティング、株主総会、決算発表・説明会、IR・SR情報(適時開示情報等)のウェブサイト、現場見学会	適時適切な情報開示、リスク・機会両面での情報発信
ビジネスパートナー 協力会社	公正な取引慣行の実践と、人権、労働安全衛生、環境に配慮したサプライチェーンの構築により、協働して持続可能な社会の実現、社会価値の創造に貢献し、パートナーとして共に持続的な成長を目指します。	安藤ハザマ協力会、事業活動、展示会、イベント	労働安全衛生、適切な施工管理、公正な取引慣行
社員	多様な社員が安心、安全に、かついきいきと働け、一人ひとりの能力を最大限に発揮できるよう、職場環境、各種制度の整備、および公正な処遇、キャリア形成に努めます。	社員満足度調査、定期的な面談、労使協議、ヘルプライン	労働安全衛生、多様性の配慮、キャリア形成、公正な処遇
地域社会	さまざまな地域において、事業活動・社会貢献活動を通じて、地域社会の発展、将来世代の育成に貢献し、企業市民としての責任を果たし、地域社会との共生に努めます。	社会貢献・文化貢献活動、現場見学会、体験学習会	地域社会との調和、将来世代の教育などコミュニティへの支援

安藤ハザマの『CSR基本方針』

CSR経営を徹底し、サステナブルな社会の実現に貢献することは、企業の本質的な使命です。その考えのもと、安藤ハザマは『CSR基本方針』を定め、さまざまな活動を展開しています。今後さらに、SDGsやESGへの取り組みを強化し、設定したマテリアリティに掲げたテーマを確実に推進していくため、引き続き、社員一人ひとりに、CSR活動の核となる基本方針の着実な浸透を図ります。そして、社会から日増しに高まるサステナブル戦略への期待に、グループ一丸となって応えていきます。

『CSR基本方針』

安藤ハザマは、確かな技術と情熱で、安心・安全・高品質な「良いものづくり」の実践を通して社会やお客様の発展に寄与し、豊かな明るい未来の実現を目指していきます。